

経済学部 地域創造学科 カリキュラムフローチャート(2024年度以降入学生)

学部共通科目 学科共通科目 コース科目 ゼミナール科目 ◎: 必修科目 ●: 選択科目 []: 単位数

区分	1年次		2年次		3年次		4年次		最低修得単位数	卒業要件単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
総合共通科目	文化・芸術領域: ●ことばと日本文化[2]、●スポーツの文化[2]、●ことばと異文化[2]、●情報文化論[2] 歴史・社会領域: ●歴史と国際情勢[2]、●現代国家と法(日本国憲法)[2]、●暮らしと経済[2]、●人権・同和教育[2] 人間・環境領域: ●人間と哲学[2]、●生命と地球[2]、●心の科学[2]、●共生社会を生きる[2]											
言語・異文化理解科目	◎英語Ⅰ[1] ●中国語Ⅰ[1] ●韓国語Ⅰ[1]	◎英語Ⅱ[1] ●日本語表現Ⅰ[1] ●中国語Ⅱ[1] ●韓国語Ⅱ[1]	●英語コミュニケーションⅠ[1] ●実用英語Ⅰ ●日本語表現Ⅱ[1] ●中国語Ⅲ[1] ●実用中国語Ⅰ ●韓国語Ⅲ[1] ●実用韓国語Ⅰ	●英語コミュニケーションⅡ[1] ●日本語表現Ⅲ[1] ●中国語Ⅳ[1] ●韓国語Ⅳ[1]					6単位以上 (各領域2単位以上)	30単位以上		
情報教育科目	◎データサイエンス入門Ⅰ[1]	◎情報処理演習Ⅰ[1]	●情報処理演習Ⅱ[1]	●情報処理演習Ⅲ[1]					2単位以上 (必修2単位)			
健康教育科目	●スポーツA[1]、●スポーツB[1]、●健康の科学[2]											
キャリア教育科目	◎キャリア基礎演習Ⅰ[1]		◎キャリア基礎演習Ⅱ[1]		◎キャリア基礎演習Ⅲ[1]						5単位以上 (必修5単位)	
学部共通科目	◎経済学概論[2] ◎経営学概論[2] ●簿記入門[2]	●ミクロ経済学入門[2] ●マクロ経済学入門[2] ●統計学入門[2]									32単位以上 (必修4単位)	
学科共通科目	●観光地理(国内)[2] ●観光地理(海外)[2] ●旅行業務取扱管理者演習Ⅰ(旅行業法)[2] ●旅行業務取扱管理者演習Ⅱ(約款)[2] ●旅行業務取扱管理者演習Ⅲ(国内旅行業務)[2] ●旅行業務取扱管理者演習Ⅳ(海外旅行業務)[2]	●地域のまちづくり入門[2] ●観光学入門[2] ●地域協働論[2] ●民法[2] ●簿記3級演習Ⅰ[2] ●簿記3級演習Ⅱ[2]	●人口学[2] ●地域創造実習Ⅰ[1] ●簿記2級演習Ⅰ[2] ●宅建演習Ⅰ[2] ●宅建演習Ⅱ[2] ●宅建演習Ⅲ[2] ●宅建演習Ⅳ[2]	●地域経済論[2] ●地域データ分析[2] ●統計学[2] ●金融論[2] ●地域創造実習Ⅱ[1] ●簿記2級演習Ⅱ[2] ●FP3級演習Ⅰ[2] ●FP3級演習Ⅱ[2]	●経営戦略論[2] ●マーケティング論[2] ●地域創造実習Ⅲ[1]	●経営組織論[2] ●ソーシャルビジネス論[2] ●地域創造実習Ⅳ[1]						
コース科目			●地域のまちづくり[2] ●地域政策論[2] ●非営利組織論[2]	●地域の安全と生活[2] ●財政学[2]	●経済政策[2] ●地方自治体の財政[2] ●行政法[2]	●公共経済学[2] ●社会保障論[2] ●地域の健康福祉[2]						60単位以上
観光まちづくりコース			●観光経済学[2] ●観光史[2]	●観光政策論[2] ●宿泊産業論[2] ●交通産業論[2]	●流通管理論[2] ●消費者行動論[2] ●ブランド論[2]	●地域の観光資源[2] ●サービスとホスピタリティ[2]						16単位以上 (所属コース)
ゼミナール科目			◎ゼミナールⅠ[2]	◎ゼミナールⅡ[2]	◎ゼミナールⅢ[2]	◎ゼミナールⅣ[2]	◎キャリア発展ゼミナール[4]		卒業研究の作成		必修12単位	
自由選択科目	K-CIP関連科目、他学部・他学科等の科目										18単位以上	

卒業認定・学位授与の方針(DP)

地域創造学科は、総合的な教養、経済・経営分野を基盤に地域政策・観光分野での多様な専門知識を身に付け、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を備えた人材を養成することを目的とする。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】
学士(経済学)として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および地域政策・観光に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見だし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】
地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。